



Nagoya City University Academic Repository

学位の種類	博士（薬科学）
報告番号	甲第1601号
学位記番号	第327号
氏名	橋崎 将典
授与年月日	平成 29年 3月 31日
学位論文の題名	非接触睡眠計を用いた大規模データ分析による日本人の睡眠に関する疫学的研究
論文審査担当者	主査： 青山 峰芳 副査： 糸 和彦, 服部 光治, 山村 壽男

氏名	はしざき まさのり 橋崎 将典
学位の種類	博士（薬科学）
学位の番号	薬博第 327 号
学位授与の日付	平成 29 年 3 月 31 日
学位授与の条件	学位規則第 4 条第 1 項該当
学位論文題目	非接触睡眠計を用いた大規模データ分析による日本人の睡眠に関する疫学的研究
論文審査委員	(主査) 教授 青山 峰芳 (副査) 教授 糸 和彦・教授 服部 光治・准教授 山村 壽男

論文内容の要旨

本研究は、非接触睡眠計を用いた大規模データを分析した客観的指標による睡眠データを解析して、日本人の睡眠を疫学的に調べたものである。最初に、年代別・週の中の曜日別に睡眠時間と睡眠位相に解析したところ、平日と週末（平日夜と休前日夜）の睡眠時間の差は、若年者で最長で、年齢とともに減少した。この結果は、若年者ほど、生活が夜型であること、さらに睡眠不足度が高いことを示唆した。次に、3年間の経年的データを用いて、5種類の睡眠指標（就床時刻・起床時刻・睡眠時間・中途覚醒時間・睡眠効率）の季節変動を解析したところ、睡眠時間は冬に長く、夏に短いこと、さらに季節変動は、平日よりも週末が大きいことが分かった。

論文審査の結果の要旨

本研究論文は、新規に開発された非接触睡眠計を用いて取得した大規模な客観的指標による睡眠データを解析して、日本人の睡眠を疫学的に調べたものである。その結果として、年齢による大きな変化、週末と平日による社会的影響に加えて、自然条件による環境の影響などによる大きな季節変動を示すことについても、新規の知見を得た。これらの結果は、基礎科学的にも興味深いことに加えて、臨床疫学的にも今後の日本人の睡眠衛生向上への価値が高い発見であり、審査担当者の合議により、学位論文に値するものと判定した。